

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード : 140001

臨床推論・臨床判断演習 Clinical reasoning / Clinical judgment Exercise

担当教員 寺井梨恵子、南條裕子、岩佐和夫、石川倫子、田村幸恵、瀬戸清華、中嶋知世、千田明日香

実務経験 担当教員全員に臨床経験がある。

開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	演習
------	-------	-----	---	------	----

必修・選択	必修	時間数	30		
-------	----	-----	----	--	--

Keywords 臨床推論、臨床判断、シミュレーション

学習目的・目標

【学習目的】
看護師が患者の身体状況を的確に把握するために、臨床推論を行い、緊急度や重症度を判断し、患者の状態にあった的確な看護ケアを提供できる力を養う。この過程で、臨床判断の思考過程「気づき」「解釈する」「反応する」「リフレクション」を身につける。

【学習目標】
1. 臨床判断と臨床推論とは何かを理解し、その関係を理解できる。
2. 臨床現場で遭遇しやすい事例を通して、臨床判断過程を思考できる。
3. 臨床現場で遭遇しやすい症状の事例展開を通して、臨床推論ができる。

授業計画・内容

回	内容
1	1. 臨床判断 1) 臨床判断とは 2) 臨床判断の構成概念 3) 臨床判断のプロセス 4) 看護過程と臨床判断の関連
2～4	2. 臨床判断の実際 1) 臨床判断の思考過程「気づき」「解釈する」「反応する」「リフレクション」を臨床現場で遭遇しやすい事例で体験する
5	3. 臨床推論 1) 臨床推論とは 2) 臨床推論の方法
6～8	4. 臨床看護場面で遭遇する症状における臨床推論の実際 1) 発熱のある患者 2) 腹痛のある患者 3) 呼吸に異常のある患者 など
9～15	5. シナリオシミュレーション演習 1) 腹痛・咳嗽・発熱を主訴とした3事例 （1）シナリオ作り （2）シナリオ練習と修正 2) シナリオの発表（演示） 3) ピア評価

教科書

参考図書等 三浦友里子、奥裕美著：臨床判断ティーチングメソッド、医学書院

評価指標 筆記試験（40%）、課題（40%）、グループ貢献度（20%）で評価する。

関連科目 解剖生理学、解剖生理学実習、人間病態学・演習、疾病・障害論、フィジカルアセスメント、看護過程論、基礎看護学実習Ⅱ

教員から学生へのメッセージ 臨床看護師の思考のように患者さんを見て気づき、解釈する。その上で実施し、自らの実践を振り返る。このような思考を一緒に身につけていきましょう。